

## 第1回 一宮駅周辺地区デザイン懇談会 議事概要

### 1. 日時

2022年8月31日（水）14時00分～17時00分

### 2. 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

### 3. 議題

- (1) 本懇談会の位置づけと趣旨
- (2) 一宮市のまちなかの現状とこれまでの取り組み
- (3) 意見交換（一宮駅周辺地区の未来デザインのあり方について）

### 4. 議事概要

- ・事務局から資料に沿って議題の内容を説明した。
- ・一宮駅周辺地区の今後のあり方や目標設定、事業の進め方について意見交換を行った。
- ・今年度中に、一宮駅周辺地区の未来デザインのあり方についてとりまとめを行うこととした。

### 5. 主な意見（要旨）

- ・民間の開発や投資の誘導が起きるようなビジョンづくりや公共空間デザインが必要である。
- ・名古屋ではなく「一宮で過ごしたい」と選択されるような人気のある「まち」、ここに暮らしたいと思えるような幸せを感じる「まち」を目指すべきである。
- ・対外的なイメージを変えるには、ビジョンをつくっていくプロセスから「一宮市は変わるんだ」ということを示していく。
- ・20年後に最先端になるためには、民間発意による面白いエッセンスを大事にしたビジョンが良い。
- ・社会実験で何を目標しているのか、ねらいや目的をプレイヤーと投資する側にも説明するとともに、社会実験の何が定着するのか、しっかりと見極めていくことも考えなければならない。
- ・銀座通りが変われば大きなインパクトを与えるため、その在り方次第では、このまち全体を劇的に変えられる可能性がある。
- ・銀座通りを中心とすることで駅前を市民の共有財産として議論していくという方向性が良い。
- ・本町商店街のアーケードは、商店街のものではあるが公共財としての大きな価値があり、大事にしていけないといけない。
- ・未来ビジョンが環を描き、未来デザインがその実現のためにあるものとして捉える。

以上